

■ 銘柄:東京白金 ■

氏名 田栗 満

## 明日以降はギャン理論の「離れにつけ」か？



### ■ コメント ■

本日の白金は、41円安の3504円で終る。東京(15:30)の白金スポットレートは1140ドル。

本日の東京市場は、軟調で終わった夜間取引を受け、為替の円高から頭が重たい動きで始まった。今晚、GMと債権団との合意が得られなければ、連邦破産法11条の申請が濃厚になってくると思われ、白金価格に対する下げ要因となるのではないかと。特に景気に対する楽観的な見方とドル安に押され上昇してきたが、今度は需給に直結する材料だけに予断は許されない。本日の東京市場もNY市場の休場を受け、方向感が定まらない動きの中、北朝鮮の連日のミサイル発射といった新たな要因出現で為替も不透明な状態となり、東京市場の商品価格も反落している。東京白金をチャートから見ると、最近の高値3559円を上回れない状態から本日3491円まで下値を追ったが、昨日の安値3480円までは届かなかった事など方向性がはっきりとした状況になく、明日以降にどちらの価格水準を更新するかが鍵となるのではないかと。ただオシレーター系では、相対力の動きが緩やかに上昇ラインを下回る可能性が高いと見られ、明日の下落は追撃の売りポイントになる可能性も高いと思える。(16:37記 田栗)

### ■ テクニカル ■

移動平均(10MA)	3500円
移動平均(40MA)	3649円
RSI(9日)	45.05%
%D	66.56
slow%D	58.04

### 商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。

詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている「取引の重要事項」をご確認ください。